

平成 29 年度低温熱源活用発電技術実用化推進事業概要資料作成要領

- * パワーポイントのフォーマット「【概要資料】平成 29 年度低温熱源活用発電技術実用化推進事業.ppt」をダウンロードして、下記の構成にて作成してください。
- * 応募書類を提出した後、概要資料については①～⑤一式（6 枚以内）を平成 29 年 2 月 9 日（木）17 時まで電子データにて提出してください。

<構成>

- ① 概要資料その 1（事業概要）【1 枚（別紙参照）】
- ② 概要資料その 2（事業の必要性、事業の効率性）【1 枚（別紙参照）】
- ③ 概要資料その 3（事業の有効性、その他）【1 枚（別紙参照）】
- ④ 平成 29 年度の予定【1 枚】
- ⑤ 参考資料（図表・写真等）【2 枚以内】

<注意事項>

※表紙不要

※①～⑤については別紙及びフォーマットを参照にして作成してください。

概要資料作成要領

- ・ サンプルの構成（ページ構成、枠取りなど）を崩さないようにしてください。
- ・ 文字ポイント数は10ポイント以上（図表中の文字は任意の大きさとする。）
- ・ サンプルを参考に箇条書きや図表を用いて簡潔に整理してください。
- ・ CO2削減量の試算に当たっては、地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン（URL: http://www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/index.html）などを参考にしてください。

(1) 事業概要

①事業概要

事業の概要について、平易な表現で、一読して分かるよう記載してください。（200文字程度）

また、該当する重点課題があれば記載ください。

②実施計画

事業実施スケジュール及び事業費について要素技術／分担業務ごとに記載してください。

③技術開発・実証研究の詳細

本事業の具体的な内容・システムの概要を、各要素技術／システム及び全体構成に分けて簡潔に、かつ分かりやすく記載してください。

→要素技術／システムの切り分けに当たっては、④「システムの概要」との関係が分かるよう記載してください。

④システムの概要

技術開発を行う装置やシステム全体のシステムフロー図や実証試験を行う全体フレーム図などを記載してください。

→技術開発内容に応じて、導入技術や、エネルギーフロー・マテリアルフローが分かるよう作成してください。

→核となる技術、PRポイントを明確にしてください。

⑤地域の合意等の状況について

応募時点における、実証を予定している地域の調整状況等を記載してください。

(2) 事業の必要性

①技術的意義

本事業で開発される技術等の実用性・科学的な先導性・発展性について簡潔に、

かつ分かりやすく記載してください。(適宜図表を用いても構いません)

②社会的意義

- ア. 温暖化対策施策を推進する上での社会的・経済的・行政的な必要性が高いか
- イ. 将来的に制度の導入等につながるか

上記について簡潔に、かつ分かりやすく記載してください。(適宜図表を用いても構いません)

→ア. エネルギー起源 CO2 排出量削減は、大前提となる社会的必要性ですので、この分野の CO2 削減を狙う意義について明確に記載してください。また、国費を用いて行う必要性についても留意しつつ記載してください。

→イ. 事業を進める中で、今後どのように、制度の導入等につながると考えているか記載ください。

(3) 事業の効率性

事業実施体制について、各事業実施者が要素技術及び分担業務を、関連した分野の知見・過去の業績とともに簡潔に記載してください。

→図示いただく範囲は共同実施者までで結構です。

(4)事業の有効性

①目標設定・達成可能性

本技術開発事業で開発する設備等の最終的な目標となるスペック等について、関連分野における過去の実績を含めて具体的に記載してください。

→CO2 削減効果(導入による削減量、従来品との比較)のほか、内容に応じて、開発規模・仕様、性能(従来品との比較、優位性)、コスト(従来品との比較、差額)、単純回収年(イニシャルコスト差額÷年間ランニングコスト差額)、各要素技術の開発目標、事業規模・スペック、運用コスト・事業収益などについて記載してください。

②事業化・普及の見込み

本技術開発事業による事業化・普及の見込みについて記載してください。

→普及のためにインフラ等が必要となる場合は、それらの導入コスト等についても記載してください。

③期待される CO2 削減効果

2020 年時点で期待される CO2 削減効果について、具体的な目標導入量、シナリオに基づき記載してください。

→下図の試算方法パターンを参照しパワーポイントには「B-a, II-i」のように、試算方法パターンを記載してください。(どの類型に当てはまらない場合は、「その他」とし、方法の概要を記載してください。)

→統計データを使用した場合は、出典を明記してください。

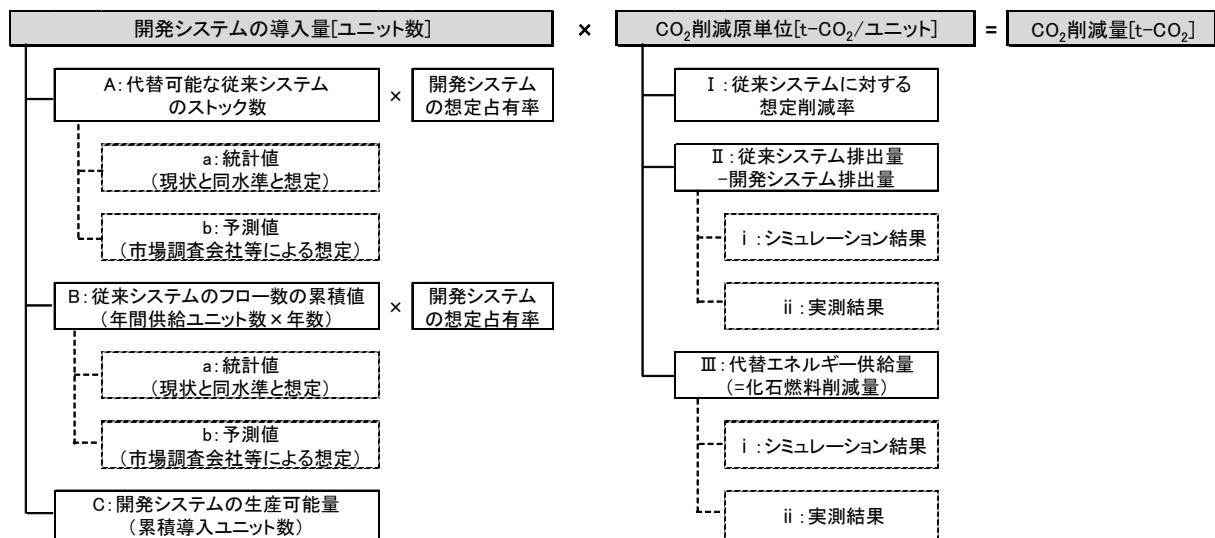


図 CO₂削減量の試算方法の類型パターン

(5)その他

本事業を実施する上で開発技術の展開等の PR したいことを、適宜図表等を用いながら自由に記載してください。